

## 第8回倉敷市総合浸水対策推進協議会 議事概要

- 日 時 令和7年5月14日 15:00 ~ 17:00
- 場 所 倉敷市男女共同参画推進センター（天満屋倉敷店6階）第1会議室
- 出席者

### 【委員】(50音順)

磯打委員、片谷委員、神原委員、河野委員、小山委員、諏訪委員、田宮委員、西山委員

### 【事務局】

環境局	: 小畠参与
下水道部	: 藤井参事、吉和副参事
地域防災推進課	: 中川課長代理、三宅課長主幹
危機管理課	: 真鍋課長代理
教育施設課	: 武内主任
浸水対策室	: 畑本室長、仲前次長、沖課長主幹、柴北主任

- 傍聴者 0人
- 報道 0社

### ■ 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 議事
  - (1) 基本計画における取組の実績について
  - (2) 学校施設への雨水タンク設置による広報活動について
  - (3) 水位計設置による避難行動支援施策について
  - (4) 防災に係る取組等について
- 5 閉会

## 会議内容

### 1 開会

事務局

それでは、ただいまより、第8回倉敷市総合浸水対策推進協議会を開会いたします。本日は、委員10名のうち、1名が欠席となっており、1名が退職されたということで、現在次の委員の選定を依頼しております。また、2名が遅れています。以上、6名の方に御出席いただいております。倉敷市総合浸水対策の推進に関する条例第25条第2項により出席者数が過半数を満たしているため、会議は成立いたしておりますことを報告いたします。

### 2 あいさつ

参与

皆さんこんにちは。倉敷市環境局の小畠でございます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、第8回倉敷市総合浸水対策推進協議会へ御出席いただきまして誠にありがとうございます。また、平素より倉敷市政へ格別の御理解、御協力賜りまして、厚くお礼を申し上げます。

この協議会は令和4年からスタートしております。今回で4年目という事になっております。この間、倉敷市総合浸水対策基本計画を策定して、浸水対策が進んでいる状況でございます。委員の皆様方におかれましては改めて感謝を申し上げます。

さて、前回の第7回の協議会では、委員の皆様方から、防災意識の向上、市の政策、補助制度の広報などについて、貴重な御意見を頂戴しております。今回の協議会では、それらを踏まえました取り組みなど、御説明させて頂きますこととしております。

少し話は逸れますが、1月28日に埼玉県八潮市で下水道管路の破損が原因となります大規模な道路冠水事故が発生しております。尊い命が失われております。それを受けまして、市でも緊急に点検・調査を行っているところでございます。これからですけども、通常の点検調査に加えまして、八潮市に似たような状況の箇所など10kmにつきましても重点的な調査を考えております。この調査する区間ですが、雨水を排除する下水道管も含まれております。継続的な浸水対策を行うために、物を作るだけではなく、その後の維持管理というのがとても大切であると、今回の案件を受け、改めて認識しているところでございます。

本日は、委員の皆様におかれましても限られた時間ではございますけれども、幅広い視点より、貴重な御意見を頂ければと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 委員自己紹介

## 4 議事

### (1) 基本計画における取組の実績について

事務局より、基本計画における取組の実績の中で「河川及び下水道等の整備に関する事項」について説明。

会長	まずは基本計画における4項目のうち、ハード整備に係る部分であり、公助だけではなく、自助・共助に係る部分も入っています。清掃とかは市民ができることです。この協議会の特徴の一つとして、ハードの整備を市民の方に細かく見てもらって市民に分かっていただきたい。そのため、委員の皆さんにはハード整備について市民代表の視点で見ていただき、専門用語が分からぬ点や気になる点について、忌憚のない御意見をお聞かせください。
委員	吉岡川雨水ポンプ場の建設に関して、シミュレーション結果を拝見し、良い取り組みだと感じました。令和6年度に完成したポンプの効果を示していただけると良いと思いながら聞いていましたが、先ほど水位計を設置して効果を検証するという説明がありました。整備した施設の効果を市民の方に知らせていくことは非常に重要なと思います。 シミュレーションは、どの程度の雨量を想定しているのでしょうか。
事務局	下水道事業の雨水管理総合計画に基づき、4.6 mm/h、24時間の中央ピーク雨量を想定しています。年間確率で10年に一度の雨になります。岡山県はあまり雨が多い地域なので、実際にはかなり稀なケースと考えています。
委員	ポンプ場を建設してもちろん効果はあると思いますが、ポンプとしては大規模なものではないと思います。どの程度の雨に対応できるかも合わせて説明していくことが、効果を示す上で重要と考えました。
事務局	4.6 mm/h の雨は、雨水管総合計画策定後に降ったものなので、次の計画見直し時にはいくらか反映されるかもしれません。また、国土交通省からは気候変動を考慮して1.1倍の係数を考慮するよう言われており、それも含めて雨水管理総合計画の見直しに着手する予定です。
会長	倉敷市はハザードマップを公開していますよね。ハザードマップの雨量はどうでしょうか。
事務局	内水ハザードマップは、想定最大規模で130 mm/h の降雨を想定し、平成23年の台風12号の長雨スパンのピークを130 mm/h としています。
会長	地球温暖化が来たので1,000年に一度のとんでもない雨も想定してハザードマップを公開しましょうとなっています。過去の経験に基づいてハード対策をしている中で、地球温暖化を迎えるにあたってまだ課題があります。予備知識としまして、川というものは人間が作っています。川の幅、水位、堤防の高さを決めているのは過去の経験からです。そのため、経験の無い雨が降ったら溢れるのは当たり前なん

	です。また、どれだけの雨を流すためにこれだけの断面が必要と決めていますが、これを邪魔するのが土砂です。土砂が溜まると木が生えてきて、どれだけの雨を流すというものが狂ってきます。そのため川や海に溜まった土を掘る必要があります。一度に全部掘れればいいですが、予算も限りがあるので部分的に掘っています。
	他に気になる点はありますか。
委 員	倉敷川で藤戸寺があるあたりについて、藤戸寺の反対側が住宅地になっていて大雨でよく冠水してしまうようですが、何か実施していることはありますか。
事 務 局	雨水管理総合計画を立てて当面対策として優先地区を決めて整備していくこうという表明はしています。ただ、今言わたったところがその対象地区かというと、対象地区ではありません。ただ、倉敷川は下流に児島湖があり、この児島湖を国や県が事前排水をしてくれていて、少々の雨が降ってもピークが来るまでの時間を稼ぐことができるでの、浸水の頻度は減っている傾向にあると思います。
会 長	ありがとうございます。気になったのですが、排水機場とポンプ場は区別があるのでしょうか。
事 務 局	はっきりとは分かりませんが、下水はポンプ場で、河川系や用水路系は排水機場です。
会 長	ややこしいですが、機能は同じです。どちらも水を汲み上げて川に戻すので、川の水位が関係します。事前排水は内水の対策としては非常に効果的ですが、経験のない雨が降ったら機能するかというの別問題となります。
	他に気になる点はありますか。
委 員	倉敷市中心部の浸水シミュレーションが資料にあります。浸水が発生する要因としては、用水路から川に排水できなくなり、水位が上昇して溢れるという理解でよいでしょうか。
事 務 局	基本的にはその通りです。ただし、美観地区周辺は特殊で、用水路が無く下水道の合流管が入っています。最終的には倉敷川に放流する合流管ですが、倉敷川の水位が上がったときに合流管の中に逆流して排水できなくなるのが原因となっています。
会 長	特殊といえば特殊なところですね。川と水位との絡みもありますので、排水先がいっぱいだとポンプは動かせなくなるので。 道路側溝の清掃について、地域への促進は何か行っていますか。
事 務 局	特に広報等で積極的な呼びかけは行っていません。これまでの慣例に従って実施されています。ただし、コミュニティの低下により、参加者が減少している現状があります。
会 長	補助金を出しているようですが、市として積極的な働きかけは特にないのでしょうか。
事 務 局	環境衛生課が実施しているので詳細は把握していませんが、おそらくホームページ

	ジやSNSでの情報発信は行っているはずです。
会長	特に梅雨や台風シーズンは草が生える時期でもあります。側溝の重要性を市民に伝えてほしいと思います。 他に気になる点はありますか。
委員	私の地域では、土木委員が補助金を受けて、農家を中心に用水路の清掃を行っています。ただし、ガードレールなどが設置されると、土砂上げが難しくなっている課題もあります。
会長	予算や人手不足の問題もありますね。他の地域でも同様の課題があるでしょう。岡山市でも用水路に蓋をすることで事故防止になるということで要望が挙がりますが、そうすると清掃が難しくなるというジレンマがあります。 市民目線での取り組みが重要で、今後もこういう形で報告をいただきますが、皆さんからもアイデアを募りたいと思います。

事務局より、基本計画における取組の実績の中で「雨水流出抑制施設の設置の促進に関する事項」について説明。

会長	川西町25号線の透水性舗装化は看板は立てていますか。
事務局	看板は立てていません。
会長	舗装というのは絶対に下に水を入れるのが大原則でした。水が入ると地面が悪くなり、車が乗ると舗装が凹むためです。ここは車道を透水性舗装にしているのが画期的です。元々、地面が雨水を吸ってくれていたんですが、コンクリートやアスファルトで地面に水を入れないようにしてしまったので、内水氾濫の危険性が高まっています。透水性舗装では水を地面に入れることとしているので、どこまで道路として持つかを実験的に行っているということですね。こういうことをしていると積極的にアピールしてほしいです。
委員	これは効果としてはいつごろ分かりますか。
事務局	何年で効果が出るというより、どれくらい持つかを見ていきます。ただ、ここ1箇所で様子見というわけではなく、交通量の少ないところに関しては積極的にしようという意思はあると担当課からは聞いています。
会長	説明にもあったように歩道には既に透水性舗装をしているところはあります。車道を透水性舗装にするというのが画期的です。水たまりが発生しにくいので、スリップしにくいですし、視認性もいいです。そういう交通安全の面以外に騒音にも効きます。ですので、小学校・中学校といった学校地区にはどんどん導入してほしいです。
委員	写真で見ると一目瞭然で分かりますが、市民の方は知らない人も多いと思います。

委 員	身近な道路のことですし、分かってもらえていないことがすごくもったいないと思うので、市民の方へ周知できたらいいと思います。
事 務 局	それと、私は「ためぞうくん」が可愛くて、お子さんとか興味を示すと思いますので、こちらもいいP Rの仕方があればいいなと思います。ぬいぐるみとかはないんですか。
会 長	着ぐるみとか作られたらいいと思います。
副 会 長	このキャラクターは職員が考えてまして、やる気をもって取り組んでいます。着ぐるみとかはないので、今後考えていきます。
会 長	マンホールのキャラクターで「ますたろう」もいますね。「ますたろう」も含めて広報については、この後に話題にしたいと思います。
会 長	透水性舗装について、大変分かりやすい土木学習の場となりますので、実験中という看板を掲げていただければいいと思います。児島湖の仕組みについて街中で看板を見かけることがあります、同じように倉敷の特性として水を流していくことは大事だっていうことの中で、こういった実験をしていますということを歩道や路側帯に付けていただけだと、アピールの場としていいのではと思いました。子どもは水溜まりがあると、わざわざ入ったりしますので、この変化にすぐ気づくと思います。是非、実験中ということをアピールしていただければと思います。
会 長	建設局にそういう意見があったということを是非伝えていただいて、看板を立てていただければと思います。

事務局より、基本計画における取組の実績の中で「森林、農地、緑地等が有する保水及び湧水の機能の保持に関する事項」及び基本計画以外の具体的な浸水対策の取り組みを説明。

会 長	緑化の推進についても、雨水を溜める機能を持ちますので、雨水タンクと一緒に広めてほしいです。日本ではあまり知られていませんが、スポンジシティという言葉があります。これは、少しの敷地があれば緑を植え育てることで、街全体を水を吸うスポンジに変えてしまうという考え方で、ドイツやニューヨーク、中国が発達しています。緑化することにより環境だけでなく、防災にも結びつくということで、個人が申請しても緑化助成制度で補助が出ますので、広報していただきたいと思います。
-----	---

## (2) 学校施設への雨水タンク設置による広報活動について

事務局より、学校施設への雨水タンク設置による広報活動を説明。

会 長	この協議会の当初の目的は基本計画の策定でしたが、すでに計画は完成し、P D C Aサイクルに入っています。今後は、市民への周知や啓発活動に重点を置きたいと考えています。
-----	--

えています。皆さんに言わわれているように、いいことをしているが中々知られていないというところを協議会で積極的に話題にしていきたいので、皆さんの知恵をお貸しいただきたいと思います。

また、倉敷市は毎年、防災フェアを企画していまして、下水道部でも模型を作りして出展されたりしています。今後、市と協議会でタイアップして、透水性舗装や緑を増やすことの効果など広報をしていきたいと思います。皆さんには、出し物やパンフレットのアイデアを積極的に出してもらいたいと思います。

他に気になる点はございますか。

副 会 長 小学校に雨水タンクが入りそうだということで、広がりが楽しみだなと思っています。どう広げていくかですが、うちの研究室の学生が高松で調査したところ、雨水タンクを設置している地域に偏りがあり、その理由としては既に設置している人からの口コミで広がっていたためでした。小学校に設置することも大事ですが、雨水タンクモデル設置事業のような形で、地域で広めていただけそうな方を選んで設置していただけだと周りの家へも波及するだろうという感覚があります。

設置についても、建築の知識がある人はいいですが、素人のD I Yでは難しいのかなと感じていて、高松で調べると、大工さんがその地域にいて設置してあげていた地域がありました。補助制度と設置できる人をセットにして、民間の力を借りる枠組みがあればいいなと思いました。

会 長 この協議会で広報のワーキングを作りたいと思っていました。今後、市と相談して広報のワーキングを立てたい。

委 員 街の中で分譲住宅が建つのを見ると、駐車場はほぼコンクリートで埋められ、少しでも花壇とか残さないのかなと感じています。住宅メーカーの人はどうやって家を売るかをとても考えていて、最近では宅配ボックスは絶対付けるとか、そういう傾向になってきていると思います。その一環で、雨水タンクが付いていますといったPRは市から住宅メーカーへできませんか。最近は家庭菜園をする人も増えてきていますので。

事 務 局 公募してそこと話すことはできるかもしれません、市が特定の住宅メーカーと話をするのは難しい課題が多いと考えています。

会 長 この協議会も来年度に向けて、市側に提案する協議会にしたい。年間のイベント計画を出していただき、ここにこういう広報するという風に変えていきたい。

事 務 局 住宅メーカーの話ですが、他の自治体では住宅展示場でPRしたという事例は聞いたことがあります。

他にPRポイントとしまして、新築で家を建てる時に、雨水タンクや止水板を設置するとフラット35を利用した場合に金利が安くなる制度もあり、年間数件の申請はある状況です。

委 員 住宅展示場とかでブースを借りてイベントができれば、その住宅メーカーの営

	業の方へもPRができるのではないかと思いました。
会長	イベントで積極的に広報することを考えていきたいと思います。イベントはどんなものがあるんでしょうか。下水道の日とかありましたよね。
事務局	下水道の日は玉野市で児島湖流域のイベントに出展しています。浸水には関係ありませんが、環境フェスティバルとかもあります。
会長	スポンジシティの考えでもあるように、緑化計画とも絡めながら広報していくことが重要と思いますので、協議会の看板を使いながら広報していきたいと思います。次回の協議会に向けて事務局と相談させていただきたいと思います。
	他に気になる点はありますか。
委員	雨水タンクを設置して水を溜めるというところは防災としての目的かと思いますが、溜めた水をこういうことに使えるという風にPRすれば設置する理由ができるのかなと思いましたので、今後、小学校に設置していく中で楽しそうな遊び系とかを見つけられていけばいいと思います。
会長	はい、承りました。来年度から協議会でこういうことを議題になる形にしたいと思います。
委員	広報用に今日の資料はコピーして配ってもいいですか。
事務局	広報用の資料は、チラシをまた考えます。

### (3) 水位計設置による避難行動支援施策について

事務局より、水位計設置による避難行動支援施策について説明。

会長	水位は市民が見れるように公開する予定ですか。
事務局	自主防災組織の方のみ公開します。
会長	データは溜まるんですか。
事務局	溜まります。
会長	河川水位は研究段階では人工知能によってかなり予想できるところまでできています。いずれ人工知能が予想するときまで、データは溜めておいてほしいですね。この水位計の費用はいくらぐらいですか。
事務局	1台6万円ほどです。基地局が数十万円かかるんですが、この地区ではすでに基地局が設置されていたので、今回は基地局の費用は発生していないです。
会長	国は水位計をばらまいて内水対策に使いたいと思っています。ただ情報をもらつた後にどうするかは市民が考えることなので、あくまで自助の一環です。
副会長	1箇所設置したことですが、どこの地区でしょうか。

事務局	玉島の長尾地区です。アプリを見ていただくと詳しい場所や今の水位を見ていただけるんですが、時間の都合で割愛させていただきます。
副会長	6万円は地域で負担するんですか。また、どういった地区に設置する予定ですか。
事務局	6万円は地域で負担していただく予定です。設置する地区については、自主防災組織がある地区を想定しています。市と自主防災組織とで協定を結んだりと整備しなければならないことがありますので、今年度モニタリングしながら一通り整備を進めたいと思います。
副会長	分かりました。水位計があつて水位が分かるからOKではなく、避難のルールや平時の防災活動がセットになると思います。私もぜひモニタリングさせていただきたいと思いました。
会長	あくまで自助の支援ですね。実は岡山大学の周りが平成30年に浸かったので、センサーを入れています。それから大雨が降っていないので、どうなるかは分かりませんが。

#### (4) 防災に係る取組等について

事務局より、防災に係る取組等について説明。

会長	個別避難計画について、倉敷市はモデルケースですね。もう少し宣伝してもいいと思います。どうアピールするかは皆さんの知恵をお借りしたいと思います。 気象情報の変更について、内水の方は予報を出すんですか。内水は地域によって違うので一律に出せないのではないかと思うのですが。
事務局	気象情報の変更については、まだ検討中のところがあると伺っています。個人的には、内水だけの予報は難しいかなと思っています。
会長	内水は外水より1つ早めに出さないといけないんですね。内水が起きて、逃げ遅れて、その後外水が来たら大変だということで、レベルが違うかなと思います。 他に気になる点はありますか。
委員	個別避難計画について、市の職員100名以上でされていて、絶対に国ではできないぐらいすごいことだと思います。その100名の中に防災関係ではない部署の方もいるのかなと思いますが、準備や勉強会はどういった感じでされたのでしょうか。
事務局	最初は行ってもらうための準備しかできていなかったのが現状です。その後は防災教育を職員にも施して行っていただきました。統計は取っていませんが、体感的には1,000人ぐらいの職員が一度は行っているだろうと考えています。
会長	すごい頑張られているので、もっと広報した方がいいと思います。

5. 閉会

事務局

以上で本日予定しておりました議事の方が一通り終わりました。お忙しい中、議論いただきましてありがとうございました。本日いただいた御意見等を参考に、基本計画に基づく活動を取組み、また市民の皆様に広く基本計画の内容を知っていただけ  
るよう努めてまいります。

本日はどうもありがとうございました。

令和 7年 6月 11 日

議事録署名委員 片山 ひろみ

議事録署名委員 機井 千雅子